

○事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートちゃん		
○保護者評価実施期間	7年 1月 29日		7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	7年 1月 29日		7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動を臨機応変にできる。 経験豊富な職員。 	<ul style="list-style-type: none"> パーテーションを活用してスペースを確保しており、それぞれが違う遊びをしたい際には臨機応変に対応が可能。 前職が保育関係の職員が多い為、会議の際に色々な案が出てくる。その為、各児童に合わせた活動や遊びを提供することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で活動する児童と戸外(敷地内)で活動する児童に分かれることにより、幅広い活動が可能になることが予想される。その際には十分注意して行い、近隣にも予め伝える必要がある。 周りの良い所を参考にすることにより充実した活動や遊びの提供。マンネリ化を防ぐ為に、ネット等を活用しておやつの実装。
2	<ul style="list-style-type: none"> 近隣(公園・商業施設等)へのアクセス。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣に公民館や公園、商業施設がある為、他事業所合同での活動や公園の遊具を活用してバランス感覚、空間認知力等の向上。商業施設では買い物体験や外でのルール等を覚えることを目的としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所で練習が行えている為、家庭でのお出かけ時、長期休みにいつもと違う場所に行った際にも対応ができることが予想される。
3	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が開けていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 個室や視界を遮る壁がない為、児童のことを丁寧に見守ることができる。また、集団での運動やボール遊びも可能な為、様々な活動・体験が見込める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体が見渡せる為、ケガ防止や虐待防止に繋がっている。テーブルの活用や障害物を置くことにより、サーキット等も可能。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の狭さ。 バイアフリー化が疎かになってしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 在籍児童が年齢と共に身体も大きくなっていく為、どうしても狭く感じてしまう。その為、活動中に死角ができてしまいケガのリスクが高くなってしまふ。 現在歩行が難しい児童はいないのですが、今後必要になることが予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> 配置物を少なくし、全体が見える環境の整備が必要と感じる為、職員と会議し、取り組んでいく。また、近隣に移転先を検討する必要がある。 室内のマットをジョイントマットとは別のけが防止となる敷物に変更する。その他にも妨げとなる物の整備が必要。
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域の児童との関りの少なさ。 ご家族様同士の交流の場の少なさ。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休みにしか児童館を利用する事ができない為、予定調整が難しい。 職員の人数が少なく行う事が難しかった事と保護者様との調整が難しい部分があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童館の活用を増やししながら、近隣の学童との関係性の構築を行いながら、交流する機会を設ける。 平日に行うのは難しい為、祝祭日や長期休みに行えるイベントを開催する必要がある。その際、話し合いを重ね、様々なことに対応できるように準備する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 人で不足の為、会議に参加できない状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の急な体調不良によりどうしても会議に出ることができない、抜けることにより事業所内で活動している児童のケガのリスクが高まる、送迎がまわらない等。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の増員、会議の日程の調整が必要と考えるが、やむを得ない場合も考えられる。